

会社説明会で脱出ゲーム

医療機器卸業の琉球光和(那覇市、秦一社長)は2012年度新卒採用に、チームで謎を解き部屋から脱出するゲームを用いた体験型の会社説明会「ダ・ヴィンチルームへようこそ」を導入する。ユニークな取り組みで同社の思いを伝えるほか、大学生に新たな就職活動の切り口を提供するのが狙い。

会社説明会は来年2月10日、那覇市



琉球光和、新たな就活提供へ準備

の県立博物館・美術館で開催する。2日、同社の社員約30人によるリハーサルが行われた。写真。1チーム5、6人で、暗号を解きながら手錠や模擬爆弾の装置を解除して部屋からの脱出を試みた。チームワークがないと解けない仕組みになっているという。一度社員が経験することで、選考する側は大学生の悩みのプロセスを見るようになり、社内教育の一環にもなるという。

これまでの就職活動は業種別の選択が多いが、秦社長は「(チームプレイがしたいなど)仕事の仕方から興味を持つってもらう方法があってもいいのではないか」と提案。「通常の採用活動は『選ぶ』だが、どうやって企業の魅力を伝えるかが重要。思いやプロセスを大切にしている企業ということ伝えたい」と話した。

会社説明会へのエントリーは同社ホームページ、www.entry-box.com/、ryukyukowa.com/

チームで暗号の解明に取り組む社員。2日、県立博物館・美術館